



東日本大震災から15年の月日が経ちました。すでに記憶が風化してしまっているかもしれません。思い出したくもない出来事なのかもしれません。ですが皆様、今一度あの時のことを振り返り、反省し、強い心を持ち続けることで、共に前へ進んでいきましょう。そうすれば自分自身、大切な人、そして日本が安心・安全でいることが出来るはずです。

2025年4月～2026年3月 活動報告

令和7年度岩手県主催総合防災訓練に参加しました！

2025年11月8日（土）、岩手県釜石市民交流センター体育館で開催された検視・身元確認訓練、行方不明者相談受理訓練、遺体引き渡し訓練に、JUMPサポーターが複数参加しました。東日本大震災被災地で開催された防災訓練、あの時と比べて格段に災害への備えが確固たるものになっていることを痛感しました。地元の皆様には、朝早くからの準備とご協力に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



釜石市民交流センター体育館



歯科的死後記録採取



行方不明者の歯科情報の記録（データベース作成）と死後記録との照合

理想的な災害犠牲者とその遺族対応モデルの構築を目指した取り組み

令和3～6年度 岩手県総合防災訓練から

JUMP Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team

我々はこの4年間の岩手県総合防災訓練で、災害犠牲者とその遺族対応について世界標準であるインターポール災害犠牲者個人識別プロトコルに則って活動し、理想的な対応モデル構築に取り組んできました。



Phase 1 - Scene examination

災害現場での搜索

Phase 2 – Post-mortem data

死後の検査

- ✓ 指紋・掌紋
- ✓ 歯科検査
- ✓ DNA型検査
- ✓ 身体的特徴 . . . 等

Phase 3 – Ante-mortem data

- 行方不明者の把握
- 犠牲者身元確認のための情報収集

Phase 4 – Reconciliation

- 照合・異同判定
- 科学的・客観的根拠による犠牲者身元特定

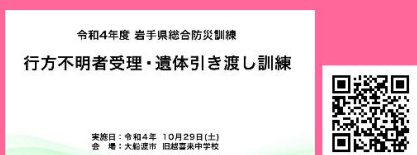
Phase 5 – Review of Action and Preparation

- 各職種の任務報告
- 情報交換
- 活動の振り返り

身元特定法、遺族対応、グリーフケア等の反省点抽出、改善法の検討

- 次の活動のための準備

振り返り会を経て完成した遺族対応訓練用動画教材



公益財団法人 さんりく基金
令和4年度採択 調査研究事業研究
「災害対応者メンタル訓練のためのバーチャルモデル構築への取り組み」
<https://www.youtube.com/watch?v=y5to36BPpU&t=6s>



公益財団法人 三菱財団
2024年度社会福祉事業
「外国人災害死に対応する者たちのためのメンタル訓練用バーチャル教材制作」
<https://www.youtube.com/watch?v=dp9WT2aVlwU&t=140s>

1. 現場での搜索 Scene exam.



出典：令和6年度総合防災訓練実施結果報告書（遠野市、花巻市）



2. 死後の検査 PM data



警察による検視（左）と指紋採取（右） 令和5年度総合防災訓練（八幡平市）



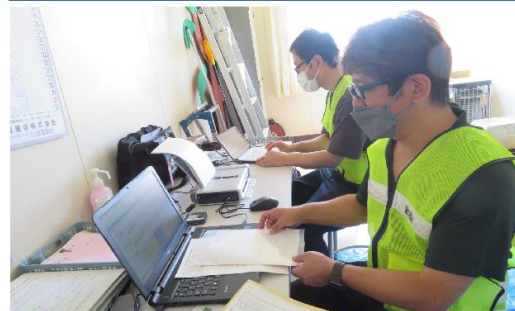
歯科医師による口腔内の記録（左）
令和5年度総合防災訓練（八幡平市）



3, 4. 行方不明者情報収集と死後検査との照合 AM data and Reconciliation



遺族へ遺体引き渡し
令和4年度総合防災訓練（大船渡市）



犠牲者と行方不明者の歯科所見照合
令和5年度総合防災訓練（八幡平市）

5. 活動の振り返り Review of Action and Preparation



令和3年度総合防災訓練振り返り会
参加者：北上市、宮古市、岩手県警察、岩手県歯科医師会、株式会社 桜、岩手医科大学



令和4年度総合防災訓練振り返り会
参加者：大船渡市、岩手県警察、株式会社 桜、ハウスセレクト（株）、ATvisual、岩手DPAT、岩手医科大学



令和5年度総合防災訓練振り返り会
参加者：八幡平市、岩手県警察、株式会社 桜、ハウスセレクト（株）、岩手DPAT、岩手医科大学



令和6年度総合防災訓練振り返り会
参加者：花巻市、岩手県警察、株式会社 桜、岩手医科大学

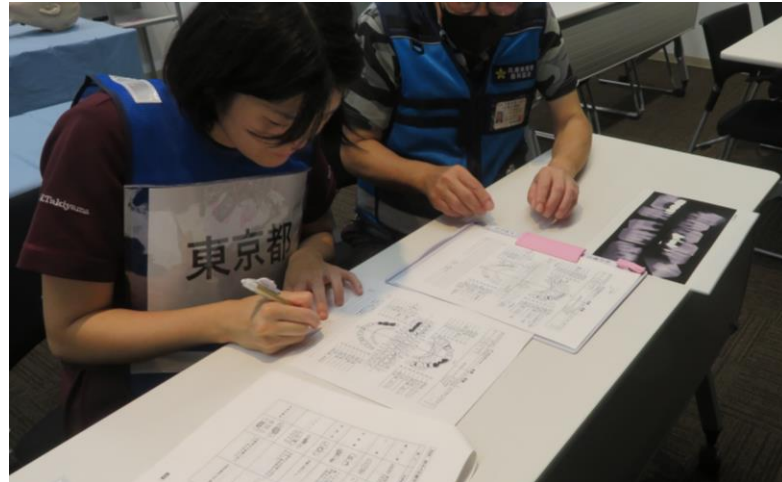
ワークショップ・講演会

● 2025年6月14日（土）JUMP企画ワークショップ 「行方不明者歯科情報と照合可能な災害犠牲者死後記録採取」

会 場：JR博多シティ 9階会議室（2）



午前の部
災害犠牲者歯科的死後記録採取



午後の部 午前の記録と
候補者情報との照合

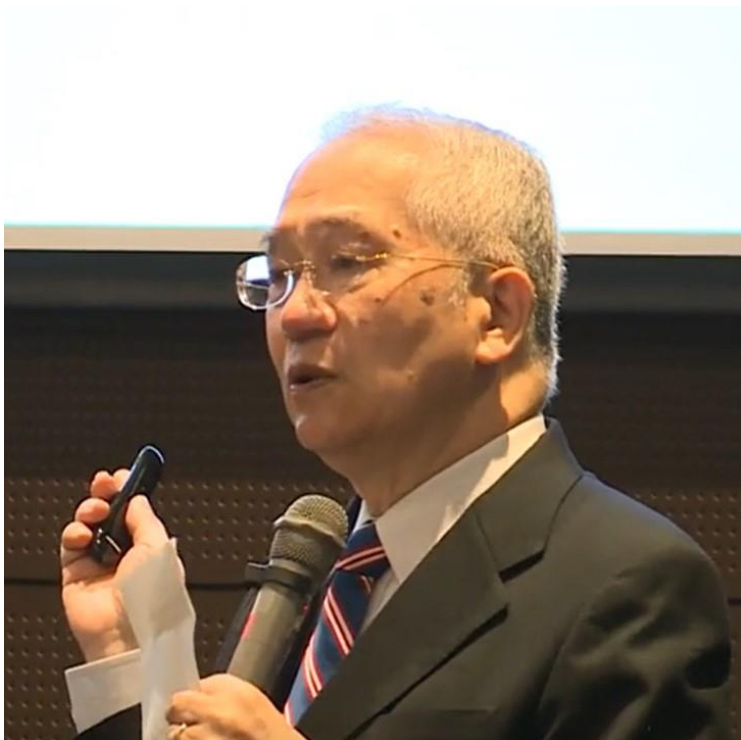


ご参加いただいた皆様と

● 2026年2月23日（月・祝）JUMP企画講演会 「ヒトの死 ～思考の多様性を知る～」

会 場：キオクシア アイーナ いわて県民情報交流センター 会議室 804A（盛岡市）

- 橋爪 大三郎 先生（大学院大学 至善館）「ひとつの生命／多様な死」
- Kenneth W. Aschheim 先生（Office of Chief Medical Examiner the City of NY）
「Lessons Learned: A Forensic Odontologist's Perspective
on Disaster Victim Identification in Mass Fatality Incidents」



橋爪 大三郎 先生



講師を囲んだ懇親会にご参加いただいた皆様



講師を囲んだ昼食会にご参加いただいた皆様

アッシュハイム ケネス 先生



2026年2月23日に盛岡で開催したJUMP企画講演会の様子が、地元のニュース（テレビ岩手）で放映されました。

2026年2月23日に盛岡で開催したJUMP企画講演会の様子が
3月3日（火）読売新聞（朝刊）岩手版に掲載されました。



教材制作

● 「遺族対応訓練用動画教材（外国人遺族編）」が完成

公益財団法人 三菱財団 2024年度社会福祉事業
「外国人災害死に対応する者たちのためのメンタル訓練用バーチャル教材制作」
<https://www.youtube.com/watch?v=dp9WT2aVlwU&t=140s>

令和6年度 岩手県総合防災訓練

行方不明者相談受理・遺体引き渡し訓練

— 外国人遺族対応 —

実施日：2024年11月10日（土）

会 場：岩手県花巻市 東和体育館

この動画が視聴できるYouTubeには、JUMP HP の「WORKS」→「動画教材」からも入ることができます。



外国人災害死対応の問題点 －外国人遺族対応動画教材による検証－

熊谷章子¹ 岡 広子² 勝村聖子³ 波田野悠夏⁴ 斉藤久子⁵

1 岩手医科大学法科学講座法歯学・災害口腔医学分野

2 広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター

3 鶴見大学歯学部法医歯学教室

4 東北大学学際科学フロンティア研究所

5 東京科学大学法歯学分野

緒 言

外国人（**韓国人**）**災害犠牲者・遺族対応**というシナリオで実施した令和6年度岩手県総合訓練映像（開催地：**岩手県花巻市**）から制作した動画教材を、災害犠牲者とその遺族対応に従事することが考えられる機関が視聴することで得られた意見から、外国人災害死対応特有の問題点を抽出した。

対 象

全 国：都道府県庁防災担当課 47、警察本部 47、海上保安本部 11、東北の海上保安部 6、医療従事者等・その他 38

岩手県内：市町村防災担当課 33、所轄警察署 16、宮古海上保安所 1

他、研修会*参加者 複数名

* 令和7年度釜石海上保安部・岩手県歯科医師会合同研修会、令和7年度 高知県警察・高知県歯科医師会連絡協議会研修会、令和7年度山形県警察歯科医会研修会

方 法

視聴方法：各機関に送付したDVD視聴、YouTubeにアップされた動画の視聴、研修会会場での視聴

意見収集方法：Google Form入力、調査用紙送付（いずれも無記名式）、研修会会場での意見交換

調査期間：2025年8～12月

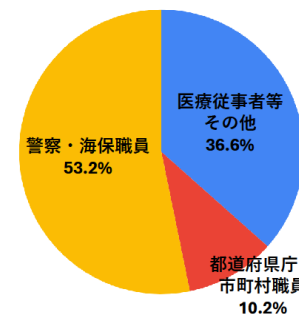
結 果

Google Formへの回答 145 調査用紙による回答 41（32機関） 合計 186

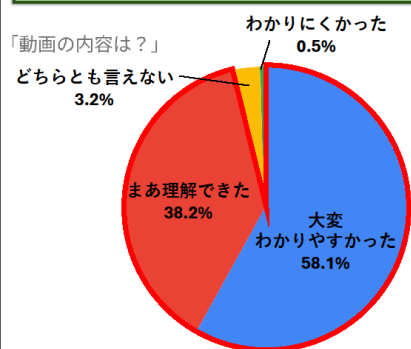
自由記述回答から（抜粋）

- **遺族と共に通訳者も遺体の確認**をしてしまっている、**対応が不適切**
- **他国の人は**、遺族による顔貌確認による身元特定ではなく**科学的根拠に基づいた身元特定を求める**、適切な説明ができるようにしておく必要がある
- 警察や市役所での**日本語表記書類作成が極めて煩雑**、**手続きを簡略化**できないか（自治体によっては多言語による書類を準備している？）
- **翻訳アプリ**の準備と活用によって外国人遺族の負担軽減を（重複聴取による遺族と通訳者のストレスは計り知れない）
- 自治体職員や外国人支援団体に対し**外国人遺族対応研修**の機会を要する（文化や埋葬方法等考え方の違い）

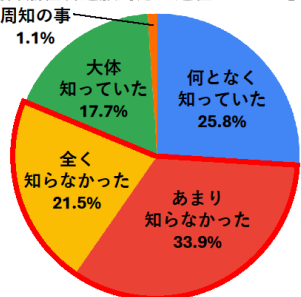
「あなたの職種は？」



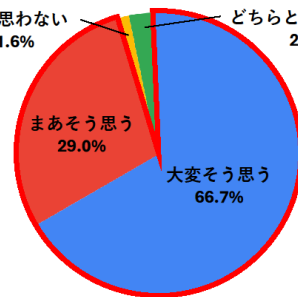
意見調査協力者の内訳



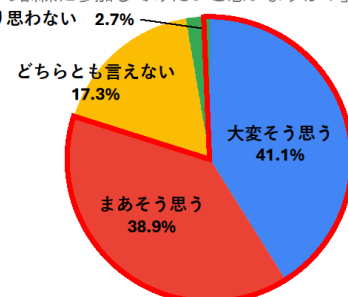
「あなたは災害犠牲者遺族対応の過程について」



「今後の訓練もしくは実際の有事に役立つ動画でしたか？」



「同様の訓練に参加してみたいと思いますか？」



動画教材の効果に関する5段階評価式アンケート調査結果

考 察

訓練動画を教材として編集することで、宗教によって異なる適切な埋葬方法の考え方や死生観等を含め外国人遺族の複雑な心情を理解するにあたり、言語の違いが大きな壁となってしまうにも関わらず行方不明者相談や死亡届受理の場で**多言語対応が整備されておらず、未だ紙媒体でやり取り**され、かつ職種間での情報共有のための適切な体制には至っていないことが重大な問題として認識された。各自治体の環境や方針によって災害への備えは異なる。外国人観光客や在日外国人が急増し国際社会にある日本では、最悪の事態に外国人が巻き込まれる可能性を考えた備えは必須である。今後も関係機関と共通の認識が持てるよう働きかけ続ける必要がある。

謝 辞

意見調査にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます

令和6年度 岩手県総合防災訓練
行方不明者相談受理・遺体引き渡し訓練

－外国人遺族対応－

実施日：2024年11月10日（土）
会 場：岩手県花巻市 東和体育館

<https://www.youtube.com/watch?v=dp9WT2aVwU&t=140s>



本報告内容は
公益財団法人三菱財団 2024年社会福祉事業・研究助成
「外国人災害死に対応する者たちのための
メンタル訓練用バーチャル教材制作」
を受け実施した

JUMPメンバーによる2冊目の書籍が完成

東日本大震災から15年

日本は変わったのか

JUMP創設後10年の軌跡と共に振り返る



現代日本の法医・歯学に基づき、
事故・災害犠牲者対応について
共に考えるための一冊

第1章 日本の現状を知る

- ・日本の身元不明者数、行方不明者数の実態
- ・災害・事故等の対応を中心とした警察歯科活動の状況
- ・歯学生への法歯学・災害医学教育

第2章 日本の諸問題とその解決に向けて

- ・身元不明者対応、行方不明者対応
ーあれから日本は変わったのか？
- ・災害時犠牲者遺族対応の今

第3章 法医歯科学領域の変化

- ・COVID-19パンデミック経験後の遺体取扱い方法の進化
- ・法医歯科学とデジタル技術

2026年2月23日より販売開始

Amazon

「ブックウェイ」オンライン書店

全国の書店での注文

発行 学術研究出版
定価 1,800円 + 税

2026年4月～2027年3月 関連行事のお知らせ

- **日本法歯科医学会 第20回学術大会**

日 程：2026年5月16-17日 会 場：鶴見大学
大会長：佐藤 慶太 先生（鶴見大学公共医科学研究センター）

- **第21回警察歯科医会 全国大会**

日 程：2026年8月1日 会 場：ホテルアバローム紀の国 主管県：一般社団法人 和歌山県歯科医師会

- **第32回日本災害医学会 総会・学術集会**

日 程：2027年3月18-20日 会 場：札幌コンベンションセンター
大会長：近藤 久禎 先生（国立病院機構本部DMAT事務局）

2025年4月～2026年3月 世界の主な災害

2025年

- 5月 7日 インド・パキスタン軍事衝突 市民も犠牲に きっかけはインド人観光客を狙ったパキスタン人のテロ
- 5月29日 ナイジェリア ニジェール州で洪水 死者200人以上 3,000人以上が被災 インフラ不備が原因と指摘
- 6月11日 オーストラリア グラーツの高校で元生徒が銃乱射 自殺した容疑者を含む11名が死亡
- 6月12日 エア・インディア墜落 生存者1名 アフマダーバードからロンドンに向かう航空機には多くのイギリス人も搭乗 イギリス側からインドでのずさんな犠牲者身元調査・遺体返還が指摘された
- 7月 トカラ列島近海での群発地震 7月3日の最大震度6弱をはじめ約2,000回の地震を観測 悪石島の村民が島外避難を余儀なくされた
- 7月 4日 アメリカ テキサス州 川の氾濫による洪水 サマーキャンプ参加中の少女ら100人以上が犠牲に
- 7月16日 イスラエル国防軍がシリアの軍事施設を空爆 少数民族同士の衝突へ介入するための攻撃
- 7月24日 タイ・カンボジア国境で武力衝突 巻き込まれた民間人11人が死亡
- 7月28日 中国北部 豪雨による洪水 前線通過後の台風8号接近による 死者30人以上 8万人以上が被災
- 7月30日 カムチャッカ地震 M8.8 2011年東北地方太平洋沖地震以降世界で最も大規模な地震 日本にも津波
- 8月31日 アフガニスタン東部ナンガルハル州で地震発生 M6.0 死者2,000人以上 11月にもM6.3の巨大地震
- 9月16日 パキスタン全土 大規模な洪水 死者1,000人以上 被災者690万人以上
- 10月 4月頃から日本各地でクマ出没相次ぐ 被害は過去最悪 特に10月 2025年11月時点の犠牲者13人
- 11月 6日 フィリピン 台風25号上陸 セブで220人以上死亡 9日にも台風26号上陸 140万人以上が避難生活
- 11月26日 香港新界地区大埔区の高層住宅火災 死者159人 行方不明者31人 焼損著しく遺体発見、身元調査難航
- 11月中旬～ 東南アジアを中心としたサイクロンによる洪水 死者数900人以上 数百人が行方不明

2026年

- 1月 1日 スイス バレー州のスキーリゾートで爆発 約40人死亡 遺体の損傷激しく外国人が含まれ身元確認難航
- 1月 8日 米によるベネズエラ攻撃 100人死亡 これによりマドゥロ大統領拘束 不当に拘束されていた人々釈放
- 1月11日 イラン全土での反政府デモ 当局の弾圧による死者650人以上 その後も情勢の悪化が続いた
- 2月28日 アメリカとイスラエルによるイラン攻撃 最高指導者ハメネイ師殺害 イラン国内の犠牲者は750人以上

2022年から続くロシアによるウクライナ侵攻 軍死傷者数は増え続けている しかし命の代償に対しロシア軍が制圧できたウクライナ領土はわずかに留まっている。

JUMPサポーターの皆様へご挨拶

JUMP第2期代表 熊谷章子

JUMP (Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team 日本身元不明・行方不明者対策チーム) は、初代代表 斉藤久子先生によって2015年10月に結成され、2025年に10周年を迎えました。私は2020年4月に第2期JUMP代表を引き継いだわけですが、この年はまさにコロナ禍真っただ中で、感染対策のために万全の注意を払い、集団感染など起こらないことを祈りつつ集会を企画し、かつ不慣れなオンライン開催併用の準備に四苦八苦したものです。現在も新型コロナウイルス感染症が消滅したわけではありませんが、海外から有識者を招致しご講演いただけるようになり、JUMPとしての活動を継続できたことは、サポーターの皆様のご理解、ご支援、ご協力あってのこと、心から感謝申し上げます。また、このような状況の中でJUMP企画イベントの多くが盛岡で開催されました。地元の皆様のお力添えのおかげで、あらゆる困難を乗り越えることができました。本当にありがとうございます。

この5年間、多職種連携、死者の尊厳尊重、デジタル化の推進を活動テーマとし、それなりの成果を上げることはできたものの未だ道半ば、2026年4月からJUMPは第3期目に突入します。JUMP創設からの10年間、日本の社会変化は目を見張るものがあります。日本のいいところは残しつつも、さらに世界へ視野を広げ、社会の変化に合わせて 進化を遂げるべく積極的な活動ができるよう、サポーターの皆様には今後ともJUMP活動へのご理解、何卒よろしくお願い申し上げつつ、第3期代表へバトンタッチいたします。



盛岡 石割桜



岩手銀行赤レンガ館



岩手山と一本桜

JUMPホームページ
<https://jump311.net/wp/>

JUMP YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/@jumpjapan>

JUMP フェイスブック
<https://www.facebook.com/identity.jump/>

JUMP インスタグラム
<https://www.instagram.com/jump.japan/?r=nametag>

Email: jump.japan.311@gmail.com



* 2026年4月よりJUMP事務局が変更となります。詳細は後ほどご案内いたします。